

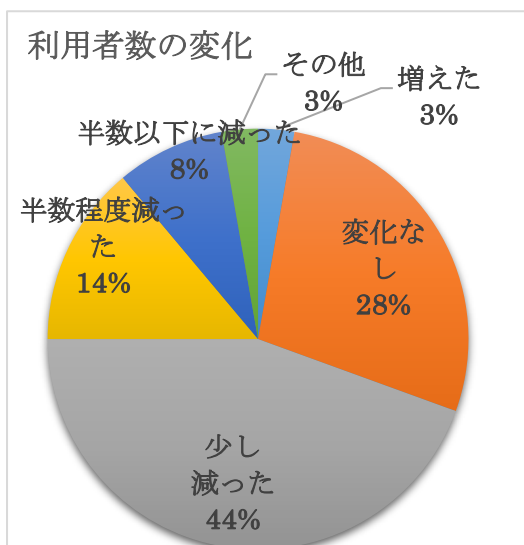
東区障害者基幹相談支援センターだより

令和2年 5月発行

「緊急事態宣言下で、どうしていますか？」

実態調査アンケート結果報告

利用者数が減少した事業所は、約70%！



(1) 高いアンケート回収率、約60%を達成！

東区障害者自立支援連絡協議会が、4月下旬に実施したアンケートでは、関心の高さを反映し、高い回収率(58%)を達成しました。

(2) 約7割の事業所で利用者数が減少！

利用者数が減少した事業所は、回答数の70%近くに達しました。

① 利用者が20%～30%ほど減ったとする事業所が、5割近くあります。

② また、利用者が50%以上減ったとする事業所が、3割以上あります。

③ 特に児童系・地域活動系・就労系においては顕著に表れています。

(3) 利用者数減少の原因は、感染への恐れ！

利用者数が減少した原因は、利用者か、その保護者が感染を恐れて自粛したためです。

① 一番多い原因は、利用者が感染を恐れ自粛したことで、約半数近くにのぼります。

② 二番目に多い原因は、保護者などが利用をやめさせたことで、3割強にのぼります。

(4) 今、事業所が困っていることは、三つの対策！

現在、事業所が困っていることは、①感染対策、②経営対策、③支援対策の三つです。

① 一番困っていることは、「マスク・消毒液など感染予防に必要な物の不足」や「接触感染を回避するためのスペースが確保できない」といった感染対策関連で、2割を超す事業所が回答しています。

② 二番目に困っていることは、「利用者数減による経営難」や「販売数・仕事量減による工賃等の減小」といった経営対策関連で、1割前後の事業所が回答しています。

③ 三番目に困っていることは、「支援会議や打ち合わせの未開催」といった支援対策関連で、1割程度の事業所が回答しています。

◆発行者◆

東区障害者基幹相談支援センター（本部）

名古屋市東区筒井三丁目1-14

TEL：052-932-7584

FAX：052-932-7585

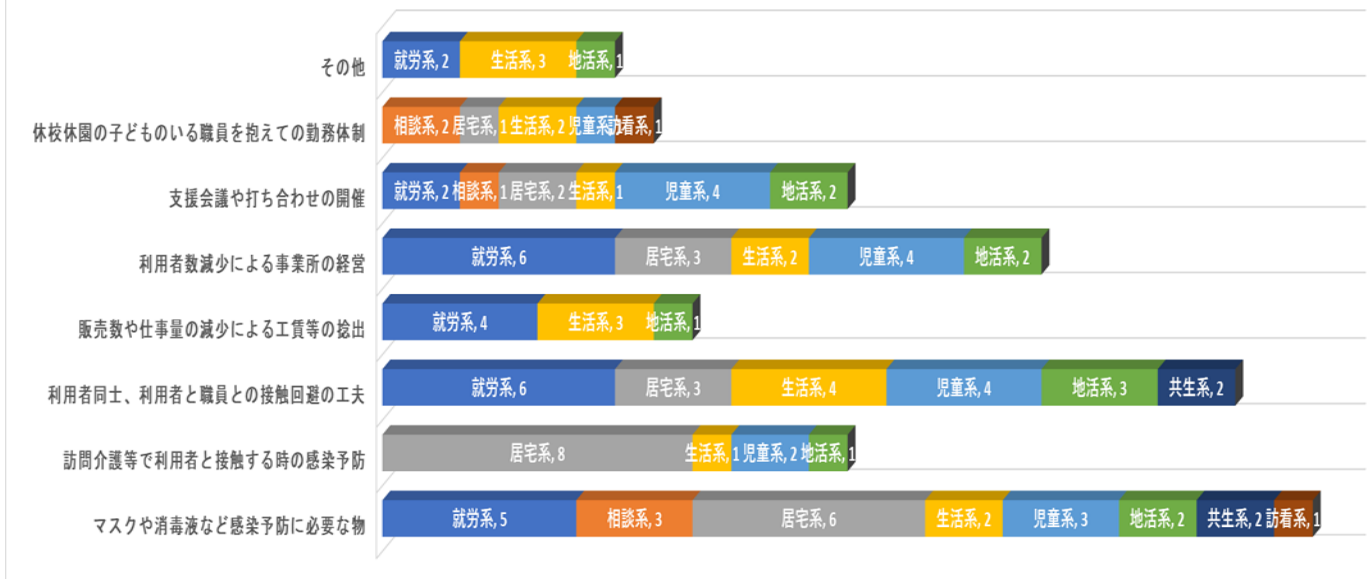
東区障害者基幹相談支援センター（サテライト）

名古屋市東区山口町3-17 プレズ名古屋徳川1A

TEL：052-325-6193

FAX：052-325-6203

現在、事業所で困っていること



(5)「困っていること」への対策として必要なこと！

- ①マスク・消毒液などの供給と、接触感染を回避するスペースの確保。
- ②感染症対策を徹底し、安全性をアピールして利用者を増やす。また、注文販売などの新たな福祉製品の販売ルートを開拓。政府の支援策への利用。
- ③事業所の IT 環境を整備し、テレビ会議などで支援会議や打ち合わせを可能に。

(6)各事業所でとりにくんでいる工夫！ぜひ、参考にしよう！

- ・利用者同士の感染リスクを軽減する為に訓練道具を共有せず、使用する物を個人用とする。
- ・十分な換気や洗い、うがい、消毒をし、利用者同士の席を十分に離し、かつ、席を固定する。
- ・時差通所可能とし、毎朝の検温などの健康管理を行い、利用者も含め全員マスクを着用。
- ・訓練内容を限定し、自粛中も家庭で取り組むことができる訓練プログラムを検討中である。
- ・<感染予防>換気、手洗い、手指消毒の推奨、作業、器具、手すり等の消毒。全員が集まるミーティングや大勢の集まる会議の中止。密な環境を減らすため、新作業を考案し、作業室を増やした。
昼休みの時間をずらし、食事中は向かい合わないように机を壁付けにした。
- ・<作業量減少>新作業(マスク製作)を始めた。既存の販売先の他、新規開拓を行った。就労部会事業所にも協力してもらった。
- ・<物資不足>食品製造時に使用するアルコールの使用用途を限定し、洗剤(除菌)や次亜塩素系漂白剤で対応可能なものはそちらを使用する。ペーパータオルは、食品製造作業のみに限定し、その他は手拭用ダスターを1日1枚用意し洗濯して使用している。
- ・時短、時差出勤、作業所分散、換気の徹底。作業室を備品関係含めてアルコール消毒。
- ・記録等を外のポストに入れてもらい、スタッフとの接触を少なくする。
- ・訪問したらすぐに手洗い、利用者にも検温してもらう。土日の余暇支援は当面中止。(ただし、GHから自宅は支援)平日作業所の送迎、病院・診療所への通院を支援する。打ち合わせはメールにする。
- ・外出活動は自粛しているが、利用者の健康維持のための散歩や運動は欠かさないようにする。
- ・代替えサービスで、個別に散歩などを利用してもらっている。
- ・国の保証を利用して職員に休業してもらう。午前と午後、人が密にならないように調整している。
- ・職員打合せと職員会議を中止して文書連絡している。
- ・食堂の三密を避ける為、食事を注文している利用者をグループに分け、時間別に食べに来てもらっている。